



森林レンジャーあきる野新聞

Vol.27

2012年9月号

発行：森林レンジャーあきる野

自然と、からだいっぱい遊ぼう！体験から学ぼう！



9月1日（土）小宮ふるさと自然体験学校が開校しました。
 この4か月間、篠木真校長と森林レンジャーの杉野隊長を中心に
 手作業で準備を行ってきました。
 展示室には、写真家でもある篠木校長の里山の四季を
 定点で撮影したパネル写真、奥山の夏のパネル写真
 4人の森林レンジャーが2年間活動を継続する中で
 それぞれが見てきたあきる野の素晴らしい自然を紹介しています。
 もっと、たくさん紹介したいのですが・・・
 「百聞は一見にしかず！」暖かい雰囲気自然体験学校へ、まずは遊びにきてくださいね！

コレンジャー8月は、もりだくさんな活動でした

コレンジャー8月の活動は、午前中は枯れ木の伐り倒し、下刈り、道づくりなどの森づくりを行いました。自分の使う道具を選び、協力しながら共に汗を流しました。
 さあ！午後はみんなの楽しみにしている川体験です。川歩き体験とアンマ釣り・生き物探し・飛び込みなど、好きなことをおもいっきり楽しみました。
 カジカ、ヤマメ、ウグイ、アブラハヤ、川虫など…き

れいな川にしかすめない生き物もたくさん見つけました。この養沢川は、私たちが遊べるきれいな川。それから、たくさんの生き物が住める環境だということも分かりました。きれいな川があるのはどうして？…そう、豊かな森のおかげなんですね。
 みんなが、遊んだ川と一生懸命汗を流した森がつながった8月となりました。
 [加瀬澤]



自分の力で木を伐りました



森から木を運び出しました



森の道も増えていきます



川歩き体験！気持ちいい〜

真夏の動物

8月中旬の青い空を見ながらレンジャー車に荷物を積んで、水分量を確認します。今日は真夏の丘陵を歩くことになっています。しかも、かなり暑くなるだろうと思いながら、出会える生き物を想像するとだんだん楽しくなってきます。

あきる野の丘陵には雑木林が多く存在していますので、季節ごとの変化がよく分かり、毎回同じ場所を歩いても飽きません。今日も面白い発見があるに違いない！これは丘陵地帯に巡視に出かける時の気分です。

今年の夏も、出会った動物たちをカメラで撮影して、永遠の思い出にしました。それら写真を見ながら、夏の様々な経験を思い出すだけでなく、また秋の訪れに伴う新しい出会いを期待することにもなります… お気に入りの何枚を紹介します。



キラキラと光る様な緑色のヤツメカミキリムシ(準絶滅危惧種)は夏の里山に現れます。



暗い雑木林の中でゆっくりと歩きながら観察をしていると、所々で見かける樹液スポットの存在が気になってしまいます。この日は4mぐらいの高さの幹で、オオムラサキ、ミヤマクワガタのオス、スジクワガタなどが狭い隙間から出る樹液を巡って、ケンカしていました(上写真)。

長い時間森を歩いた後、開けた場所に出ると体が急に落ちつきます。深呼吸をしている時に、近くの日影でのんびりしている蛇を見かけることも珍しくありません。

シマヘビ(準絶滅危惧種・下写真)は、私の経験上、アオダイショウと共に最も真夏の猛暑に強い蛇だと思えます。



夏の猛禽類であるハチクマ(絶滅危惧種)は、この季節に最も楽しみにしている出会いです。去年は市内で繁殖を行いました。今年が出来なかったようです。しかし、あきる野の里山を活動範囲にしている個体がいたため、何回か観察出来ました。この個体は昔生地区に現れた立派なオスです。丘陵でエサとなるハチの巣を探していたのでしょうか。

針葉樹林の赤松の群落内で、久しぶりにクロタマムシ(絶滅危惧種)に出会いました。

何個体か飛び回っていたため、個体群がその場所に定着し、活発に活動しているように見えました。卵を産み付けるため、木の幹を巡ります。



[パブロ]